

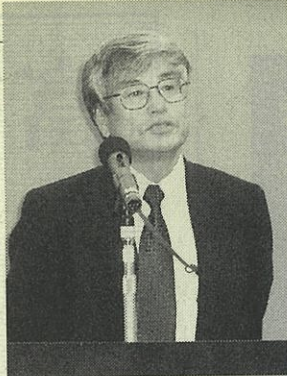
# コンクリート診断士会が設立

## 会長に丸山長岡技科大副学長

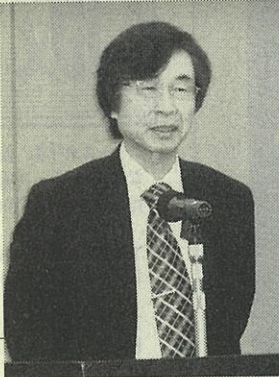
### 社会的地位の向上を目指す

「新潟県コンクリート診断士会」の設立総会が10月31日、新潟市内のホテルで開かれ、会則を制定するとともに役員選任で、長岡技術科学大学の丸山久一理事・副学長を会長に選出した。

この日は会員60人のうち48人が出席。冒頭、発起人代表の榊ナカノアイシテムの吉田弘氏が、「コンクリート構造物は多くの分野で成り立っているが、診断士は出身分野や得意分野が異なる。すべての診断ケースを経験するのは困難であり、時間と労力も要する。分野ごとに技術進歩も違うことから情報交換し、お互いに技術向上する場が必要だと思っていた。今後、会員を増やし、活発な技術交流の場となるよう協力をお願い



発起人代表であいさつする吉田氏①、会長に選任された丸山氏



したい」とあいさつ。続いて、会則や08年度の事業計画、役員選任の各議案を審議、いずれも原案通り承認した。主な事業として、コンクリート構造物の診断技術に関するセミナーを12月ごろに実施するほか、材料・設計・施工・診断の専門部会を設け、部会ごとに活動方針などを協議、次年度からの本格的

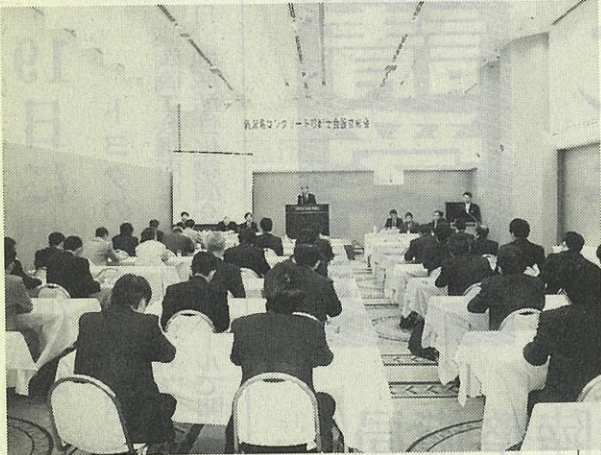
活動に向けた準備を進めることなどを決めた。

丸山会長は、「コンクリート診断士は認知されつつあるが、もっと貢献していく必要がある。コンクリート構造物を長持ちさせることが会の究極の目的。微力だが、社会的地位の向上へ努力したい」と抱負を述べた。

総会に引き続き、丸山氏による基調講演「コンクリート診断士の現状と将来」も開かれ、講演会終了後には懇親会も盛大に催された。

以下、会長を除く役員(敬称略)。

◎副会長 吉田弘(榊ナカノアイシテム)、伊藤司郎(ダイアテック) ◎会計監事 牧岳修(安田コンクリート工業) ◎幹事 池浦一雄(榊木戸生コン)、押見正(新潟県建設技術センター)、近藤治(榊開発



会則などを決定した設立総会 =10月31日

技建)、鶴巻達也(榊加潟大学准教授)、下村匠賀田組)、丸山聡(榊ダイアテック) ◎顧問 地濃茂雄(新潟工科大学教授)、岩波基(長岡工業高等専門学校准教授) ◎授、加藤大介(新潟大学事務局長) ◎遠藤潤(榊ク学教授、佐伯竜彦(新リエイトセンター)